

令和3年度 第2回特別支援学級担当教員研修<竹田>

竹田教育事務所

令和3年11月29日(月)

「特別支援学級の学級経営や教育課程編成及び授業の工夫・改善に係る授業観察・研究協議・講義・事例検討を通して、特別支援学級の適切な経営や障がい特性に応じた支援の充実等に対する理解を深め、実践的指導力の向上を図る。」ことを目的に、令和3年度第2回特別支援学級担当教員研修が竹田総合庁舎で行われました。その様子を紹介します。

① 授業観察・研究協議 竹田市立都野小学校：江里口やよい教諭 3年生 教科横断的な学習(国語・体育) 「もみのきボッチャ会を開こう～1年生に楽しんでもらおう～」

本時のめあて：ルールの説明について順序に
気をつけて考えよう



(助言)

- 「児童の実態⇔指導内容⇔目標⇔手立て」を意識
- 「音読」は音韻認識や声の調整の力を高めるためにも有効
- 「位置の説明」は算数の考え方にもつながる
- 「想像して言葉にする」のがやや難しい場合は、「やってみて言葉にする」と言葉にしやすい

② 講義「次年度の年間指導計画作成に向けて」



- 作成の手順：「実態の把握」→「指導内容の選定・組織」→「指導の形態別計画作案」
- 目標：個別化されていること
具体的で焦点化されていること
- 評価の記録：うまくいった指導や支援の方法、うまくいかなかった指導や支援の方法の両方残しておく
- 「何を授業で行うか」から、個別に「何をどのように指導するか」
- 小・中学校学習指導要領解説：「困難の状態」「配慮の意図」「手立て」が例示
→「個別の指導計画作成マニュアル～資料編～」も活用

③ 事例検討「実践事例をもとにした授業改善に向けた検討」

実生活に生かすという視点で計画されている点がいいですね。

動作化、イメージ化なども効果的です。

興味を生かした教材づくりをしているので、自分もやってみようと思います。



具体物を使うなど、視覚化して理解につなげていますね。

(助言)

- 例えば「読むことが苦手」な場合、何が苦手なのか見極めることが大切
- 文字を見る力なのか、単語の意味の理解なのか、集中力が課題なのか等
- 「聞く」「読む」「書く」ことに必要な力はいくつか細かく分けられるので、「どの段階でつまづいているか」「特に苦手なことはどんなことか」「要因となるものは何か」に目を向け、支援につなげることが大事

【参加者の感想】

- 指導案だけでなく授業の様子も見せていただけて大変参考になりました。年間指導計画作成に向けての講義では、どのようなことに気をつけて作成していけばよいかについて、見通しを持つことができました。
- グループ協議では、他の先生方の実践を聞いて、同じような悩みをもっている先生がたくさんいらっしゃり、自分だけではないんだと思い、悩みを共有できる場がもててよかったです。